

平成 28 年 第 8 回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成 28 年 8 月 25 日（木） 午後 2 時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員長、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦

5 開 会 午後 2 時

6 平成 28 年第 7 回教育委員会定例会会議録の承認について

舟山委員長 （委員全員に諮って）承認する。
一盃森委員、舟山委員長 署名。

7 平成 28 年第 7 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について

舟山委員長 | 丹羽委員、古山委員を指名する。

8 教育長報告

※なし

9 議事

議案第 13 号 大河原町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価
について

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

資料は別紙資料である。(詳細は資料参照)

(質問)

舟山委員長	項目も 14 項目に絞って評価しているが、内容も多岐に渡っている。
教育総務課長	これ以上絞るのは難しい。
舟山委員長	一つだけ内部評価が C のところがある。町民学園事業。外部評価に、ボランティアにもポイント付与する試みが提案されている。良いアイデアではないか。
教育長	町民学園事業は町民の方に少しずつ浸透してきている。成果が少しずつ表れている。ボランティアにというのも検討したいが、現在春の土手の清掃には付与している。
丹羽委員	仕組みをよく考えて運営が円滑に進むように考えていかななくてはならない。

生涯学習課長	現在もボランティアへの付与はしているが、公園清掃管理など有償のボランティアへの付与は難しい。色分けが難しいところだ。
教育長	町民学園の生徒手帳は、教育総務課長が考えて作成していただいた。
舟山委員長	取り組む人はみんな楽しみにしているのではないかと。励みになるのでは。
生涯学習課長	特に女性の方に好評であり、熱心な方も出てきている。
丹羽委員	ボランティアへも付与するのであれば、バッジを上げたり、Tシャツにスタンプなど、熱心なボランティアへのPRになるのでは。
一盃森委員	健康づくり・生きがいづくりが目的になっているが、あいまいではないか。
生涯学習課長	町長の意向で生きがいづくりまで広めた形。全国的に見ても、健康づくりは例が多い。生きがいづくりだと非常にあいまいになる部分も多いので、町長と協議して健康づくりに特化して、あまり対象事業を広げないようにして進めている。
舟山委員長	費用対効果が見えるのはいつごろと考えているのか。
生涯学習課長	医療費削減を目標の一つにしているが、町で分かるのは国民健康保険分のみ。生きがいづくりと健康づくりへの効果検証は比較が難しいと思うので、医療費が一番指標としていいのではないかと感じている。
丹羽委員	健康を目標にするのであれば、スロージョギングなど軽い運動で続けられるものの教室を開催してはどうか。
一盃森委員	教職員の福利厚生について、夏休み中の部活動の休業日の実施状況はどうか。
教育長	中学校教育の大きな課題は部活動である。日直を置かない日としてお盆中は休みとしたが、例外を認めればなし崩しになる。部活動の時間をどう精選していくか。部活動の時間が多くとられると、規範意識や志の低下、睡眠不足に繋がり、結果として学力も低下する。
舟山委員長	校外から部活動指導者を雇用する施策も文科省で提案されているが。
教育長	国の実施まで待ってられない状況である。指導も職員でないと責任ある指導は困難である。諸外国の学校では部活動というものはなく、習いたい人はクラブに通っている。学校とは切り離されている。
丹羽委員	スクールソーシャルワーカー等の不登校対策事業すばらしい。解決及び好転率が45%となっている。
教育長	数字は好転しているが、病気で休んでいる児童生徒も多い。学校に行きにくいという子どもの数はそんなに減っていない。
舟山委員長	評価委員の方々に的確に評価いただいたことを感謝している。
舟山委員長	(委員全員に諮って) 承認する。

10 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

資料は別紙資料（校長会資料）である。

I 夏季休業中の活動

1 宮城県中学校総合体育大会

サッカー 大河原中学校 東北大会出場

陸上 金ヶ瀬中学校 1年 1,500m 1位

3年 110mハードル 5位

大河原中学校 男子四種 4位

水泳 大河原中学校 自由形 100m 2位、50m 6位

金ヶ瀬中学校 バタフライ 3位

新体操 大河原中学校 個人男子 総合3位

2 吹奏楽コンクール地区大会

大河原中学校 銅賞

金ヶ瀬中学校 金賞 4年連続

3 みやぎ小中学生いじめゼロCMコンクール（県内31チーム出場）

最優秀賞 金ヶ瀬小学校6年生「楽しくなければ学校じゃない」

優秀賞 金ヶ瀬中学校生徒会「勇気スイッチONでいじめOFF」

佳作 大河原小学校6年生「元気100%笑顔100%いじめ0%」

4 おおがわら算数チャレンジ大会（25チーム75人参加 教員問題作成5名、運営委員6名）

7月26日（火）いきいきプラザ

個人の部15分、チームの部45分 3人で協力して問題を解く

第1位 大小元気100%チーム

第2位 さくらMTRチーム（大小）

第3位 Queen Flower（大小）

県の大会9月10日開催予定 健闘を祈る

5 懸垂幕 披露式

「午後9時以降スマホ禁止」 大河原町小中学校父母教師会より寄贈

スマホ使用時間がまた増加傾向の学校がある。取組方法を検討して対応を。

6 小学生スポーツ大会

8月6日（土）総合体育館

長縄跳び 10人11脚

7 世界昆虫展

8月5日～7日 中央公民館 800人超入場（ポスターコンクール参加も）

8 大河原町教育研究会

8月24日（水）いきいきプラザ

Ⅱ 全国学力学習状況調査結果

- 小学校・中学校 とも 3年連続向上 先生方の頑張りが表れている。
- 中学校の国語初めて全国平均を上回った。 向上の循環軌道に入った意識を高めたい。

<質問紙から見えてくる成果と課題>

家庭学習時間 小学校 全国を上回る 中学校 全国並み 大変すばらしい。

家庭でのゲーム時間 県、全国並みに改善。

将来の夢 小学校中学校とも 県、全国を上回る。 志教育の成果

規範意識 中学校 県、全国より低い

いじめに対する意識 中学校 県、全国より低い

自己肯定感 中学生 県、全国より低い

Ⅲ 不登校傾向

組織対応で子供を救い上げよう 校長先生の指示のもと 不登校対応チームで行動

学級の中で個人を生かす 訓練

- ・授業の中で友達と協力する場を意図的に作っているか（自己有用感）
 - ・担任自身が、おはよう・ありがとう・ごめんね、を明るく言っているか（感謝の認識）
 - ・担任が、生活の中でおしゃべりができる友達を作らせる働きかけをしているか（自己解放感）
 - ・担任が子どもの良さをしみじみと語っているか（認め合い）
 - ・担任は一日一回以上、子どもと一緒に声を出して笑っているか（笑い合い）
 - ・欠席があった場合、担任は直ちに家庭と連絡を取り安否を確認しているか（安否確認）
 - ・大河原町9時ルールを守るために共通行動をしているか（規則厳守意識）
- ① 学校生活の流れに乗せる訓練
- ・学校の中で、始業、終業、行事等の時間厳守の厳しい雰囲気があるか（時間厳守訓練）
 - ・先生の話や指示に「ハイ」と元気に返事ができるか（話を素直に聞く訓練）
 - ・先生の話に「ありがとうございます」と明るく言えるか（感謝の言葉を使う訓練）

(質 疑)

丹羽委員 教育長	部活が悪いものを引き起こしているとお考えか。 部活第一主義になっている。宿題をやってないと部活に参加できない等ルールが必要。規範意識の醸成。
舟山委員長 一盃森委員 教育長	部活が大好きな教員もいる。先生の力が強いと子供も部活第一になってしまう。 部活動の専任指導員をどれだけ配置できるかも大事。また、今回の調査結果や各校の取組を、学校間で比較することも必要ではないか。 小規模校と大規模校で児童生徒に対する指導の差が出るのではない。大規模校には町独自で教員も配置している。教員の意識の差である。
丹羽委員 舟山委員長	規範意識・規則遵守意識の結果は保護者にも知らせるべき。 規範意識の醸成は、家庭にある。

一盃森委員	各学校にも結果を公表して、対策を講じるよう考えさせるべきである。
古山委員	わが子は高校生だが、部活の先生は言っていないのだが、課題が終わらないと部活の合宿に出られないという先輩からの話があり、帰省していた姉からもアドバイスをもらいながら必死に課題を終わらせていた。
丹羽委員	すばらしい。まさに規範意識がきちんと子供たちの間で育っている。
教育長	大河原中学校も部活対抗で数学オリンピックを開催していて、活性化につながっている。その取り組みは評価している。

(2) 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

9月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

1 1 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員長 | 次回の定例会は、平成28年9月27日(火)午後1時から開会する。

1 2 閉会宣言 午後3時55分

平成28年9月27日

署名委員

署名委員